

2019年5月13日

各位

会社名 クルーゾ株式会社
(コード番号 2138 : 東証 JASDAQ スタANDARD)
所在地 東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー
代表者 代表取締役社長 小渕 宏二
問合せ先 取締役 最高財務責任者 CFO 稲垣 佑介
電話番号 (03) 5786-7080

2019年3月期 通期連結業績と前期実績の差異に関するお知らせ

当社は、2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の通期連結業績と前期実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較となっております。

記

1. 開示を要する差異が生じた理由

売上高に関しては、SHOPLIST 事業および新規事業の成長が牽引し、前期比で 18.8%の増収となりました。メイン事業の SHOPLIST 事業は前期比で 16.4%の増収と引き続き成長しており、また、その他事業セグメントにおいては、広告事業を中心に新規事業が順調に成長し前期比で 133.5%の増収となっています。

営業利益に関しては、SHOPLIST 事業及びその他事業に対して積極的な投資を行ったことが主因となります。SHOPLIST 事業においては、「営利・当期利益はマイナスにしても利益及び現金を総投資して、SHOPLIST の売上最大化」という重点戦略に則って、配送日数の短縮を目的とした新倉庫への移転や積極的なプロモーション施策を実施し、売上高の成長を目指した結果、セグメント損失は 335 百万円となっています。また、インターネットコンテンツ事業のセグメント利益は 342 百万円となっています。その他事業において、第二・第三の事業の柱を創出すべく現在 30 社を超える子会社に対して、積極的な投資を推進したことにより、その他事業のセグメント損失は 1,009 百万円となっています。また、経常利益の差異についても、営業利益と同様の要因によるものです。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、当初見込と比較し収益見込の低下した一部の新規事業に関わる減損損失を計上したことによります。

2. 2019年3月期（通期）連結業績と前期実績値の差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前期実績値 (A) (2018年3月期)	百万円 25,486	百万円 725	百万円 702	百万円 105	円 銭 8.78
当期実績値 (B) (2019年3月期)	30,282	△1,002	△972	△1,639	△143.20
増減額 (B-A)	4,796	△1,727	△1,674	△1,744	△151
増減率 (%)	18.8%	-%	-%	-%	-%

以上